

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	子どもたちの米づくり体験モデル事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実	主管課長	笠井 善亮				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内5小学校の5年生	意図	「米づくり」を通して、子どもたちが生産者の工夫や苦心、喜びなどを知り、流山の農業にも関心が持てるようにすると共に、食べ物を大切に作る心を育てる。
事業内容	・市内5つの小学校（西深井・新川・西初石・南流山・八木南）の5年生を対象に、地域の方々の指導や協力を仰ぎながら、田植え・稲刈り・収穫作業などの実際の米作りを体験する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度に市の「このまちごはんプロジェクト」の一環として、総合的な学習の時間での米づくり体験をスタートさせた。家庭の教育力低下も叫ばれる中、平成23年度から完全実施となった「小学校学習指導要領」においても「食育」が明記されている。「生きる力」の基本となる「食」の指導の重要性は増している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	農業指導	60	60	60	時間	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

地域の専門家の方を講師として招聘する事により、実体験として米づくりや農業について学ぶことができ、食に対する関心も高まった。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

各学校において地域の方々のお力をお借りして、水田の確保から田植え体験の指導、その後の管理、収穫作業の指導、そして最終的に白米になるまでのご指導など、多くの面でご協力をいただいている。地域の中の子どもたちとして指導をいただくことで、子どもたちも地域への愛着を感じる良い機会となっている。

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,620,251	3,913,247	3,601,927
事業費(b)(円)	165,251	148,247	169,427
うち一般財源	165,251	148,247	169,427
職員給与費(c)(円)	3,455,000	3,765,000	3,432,500
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.50
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	市内5小学校で「米づくり体験」を実施する。	③取組の課題	地域によっては、水田の確保や指導者の確保が難しいことが課題である。
②今年度(H28)に実施した取組	市内5小学校で、地域の方々の指導や協力を得ながらの「米づくり体験」を支援した。	④今後の改善計画	学校を取り巻く地域の状況に応じて「米づくり体験」を支援していく。